

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL：019-623-5575
FAX：019-623-5576

危険物倉庫の建設のポイントを解説

本記事では、危険物倉庫の建設や改修のポイントについてご紹介します。

危険物倉庫のコストを最適化し、安く、早く、安全に建てるための鉄則は、初期段階での綿密な計画と、最新の建築技術・素材の活用にあります。

一般的な倉庫建設と異なり、危険物倉庫は消防法や建築基準法など、非常に厳格な法規制に準拠する必要があります。これらの規制を理解し、建設プロセスに組み込むことで、後からの手戻りや追加費用を防げます。

本記事を参考に、危険物倉庫のコスト削減や工期短縮、高い安全性を実現していきましょう。

危険物の分類

危険物倉庫の設計は、貯蔵する危険物の種類と量によって大きく異なります。消防法では、危険物の種類（第1類から第6類）で特性と代表的な物質を分けています。

類別	性質	特性	代表的な物質
第1類	酸化性固体	そのもの自体は燃焼しないが、他の物質を強く酸化する性質を有する固体であり、可燃物と混合したとき、熱、衝撃、摩擦によって分解し、極めて激しい燃焼を起こさせる。	塩素酸ナトリウム、硝酸カリウム、硝酸アンモニウム
第2類	可燃性固体	火災によって着火しやすい固体又は比較的低い温度（40℃未満）で引火しやすい固体であり、出火しやすく、かつ、燃焼が速く消火することが困難である。	赤リン、硫黄、鉄粉、固形アルコール、ラッカーパテ
第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	空気にさらされることにより自然に発火し、又は水と接触して発火し若しくは可燃性ガスを発生する。	ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄リン
第4類	引火性液体	液体であって引火性を有する。	ガソリン、灯油、軽油、重油、アセトン、メタノール
第5類	自己反応性物質	固体又は液体であって、加熱分解などにより、比較的低い温度で多量の熱を発生し、又は爆発的に反応が進行する。	ニトログリセリン、トリニトロトルエン、ヒドロキシルアミン
第6類	酸化性液体	そのもの自体は燃焼しない液体であるが、混在する他の可燃物の燃焼を促進する性質を有する。	過塩素酸、過酸化水素、硝酸

危険物倉庫のシステム建築活用のすすめ

危険物倉庫のコストを最適化し、安く、早く、安全に建てるための鉄則として、システム建築の活用が挙げられます。

システム建築とは、建築の部材や工法を標準化し、工場で生産した部材を現場で組み立てる建築手法です。これにより、設計の自由度を保ちつつ、工期短縮とコスト削減、品質の安定を実現します。

システム建築は、一般的なプレハブ建築と異なり、より大規模な建築物に対応でき、設計の自由度も高いため、危険物倉庫のような特殊な用途にも柔軟に対応できます。

部材の標準化により、設計から製造、施工までのプロセスが一貫して効率化されるため、従来工法に比べて大幅な工期短縮が期待できます。

さらに、工場で品質管理された部材を使用するため、現場での品質のばらつきが少なく、高い品質を確保できます。

これにより、危険物倉庫に求められる高い安全基準をクリアしやすくなります。システム建築は、建設コストの削減だけでなく、工期短縮と品質向上を同時に実現する、重要な要素です。

今後、危険物倉庫の建築をお考えの方は、ぜひシステム建築を採用してみたいはいかがでしょうか？



危険物倉庫のイメージ



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

(お問合せ窓口: 牟田、佐久山)

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで